



BOUSAISI
日本防災士会福井県支部

福井県防災士会会報

第26号

2021.6.15

「2021年度通常総会」を開催

2021年5月15日(土)、「福井県生活学習館」にて福井県防災士会 2021年度通常総会が開催されました。コロナ禍での開催ということで、検温、十分なスペースの確保、換気、時間短縮等の対策をとりながらの開催となりました。会員の皆様への事前案内では総会後に同会場において「福井市防災士の会活動報告」「学校防災アドバイザーの活動報告(越前市防災士の会)」を行う事としていましたが、新型コロナウイルス感染第4波の最中であり、急遽、総会のみ開催に変更となりました。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。

総会では冒頭に下畑理事長より挨拶があり昨年度は以下の3つの観点

1. 防災に関する団体・関係機関と連携を強化して県民の防災啓発を図る
2. 会員のスキルアップ研修を行う
3. 各市町の防災士の会が相次ぎ設立されており、お互いの連携を図る

を重視して活動を行い、皆様の協力のもと無事に事業を終えられた事への感謝と、新年度は新たな事業も計画しているので、コロナ禍の中だが充実した活動にしていきたい旨の挨拶がありました。引き続き、福井県安全環境部副部長、中嶋浩一様よりご挨拶を頂きました。

その後、久保田副理事長が議長に選任され2020年度活動報告、同決算・監査報告、2021年度計画等に加え会則の改定が上程され、活発な質疑応答を経て承認されました。

閉会にあたっては、高島副理事長が「コロナ禍でも団結して頑張りましょう」と挨拶を行い、閉会となりました。



▲下畑理事長あいさつ

福井ぼうさいの仲間 #25

氏名 飛田 幸平 (ひだ こうへい)
職業・勤務先 第一防災(株) 専務取締役
防災士になるきっかけは？

以前は福井市消防局に奉公していましたが、その職種はほとんど事務畑で現場経験はありませんでした。

そのような中、阪神淡路大震災には発災直後に神戸市や消防局との連絡員という立場で赴き、惨状に驚き改めて地震の悲惨さを思い知りました。

そのような中、平成16年の福井豪雨を経験し。この前年にできた「防災士」に退職したらいずれは取ろうと思っていたところ、福井市危機管理室に異動になったのでそれを機会に資格を取得いたしました。

防災士になって、良かったと思うことは？

防災に対して熱く語られ、それを「有言実行」されている会員と知り会え、一緒に活動をさせてもらってることです。

その中でも、学校アドバイザーと企業防災に携わっていることは、自分自身のスキルアップも図られとても有意義です。

防災士として取り組んでみたいことは？

①防災士の資格を取っても加入率が低いのでできるだけ多くの方が加入しやすい環境づくりを行政の力も借りながら進めていくこと。

②福井市防災士の会にも加入していますが、県内各市町の防災士の会とも連携をしながら、将来的には「福井県各市町防災士の会連絡協議会(仮称)」を設立すること。

③常々被災後の避難は原則的には避難所ではあると思いますが、最近では「車中避難」もいわれていますのでこれを含めたテントを張っての「キャンプ」を実践し、あらゆる物を使って役に立つ「サバイバル防災訓練」を実施すること。

④これからも今活動している「防災講演」を通じて、共助の原点は「防災は日頃のお付き合い、コミュニティ」であることを広く伝えていくこと。

防災士以外であなたの「得意なこと」や「日頃が んぼっていること」は？

趣味は、登山、キャンプ、温泉巡り、夜の片町歩きですが、いずれも新型コロナウイルス禍でいけず、巣ごもり状態です。唯一家でできる

盆栽も「忙中閑」を忘れここんとこまったり手をかけてない状態です(^_^);

そんな中、20 数年来活動している国際交流事業や男女共同参画、保護司、地区の公民館運営審議委員としては、自分なりに頑張ってるつもりです。

「全労災防災減災フェア 2021」に協力



▲災害時のトイレについて説明する打谷理事

2021 年 3 月 20 日（土）、県労働者福祉協議会と全労済福井推進本部主催で福井市のユニオンプラザ福井において「家族で楽しく学ぶ防災・減災フェア 2021」が開催され、福井県防災士会から打谷理事、片山理事をはじめ多数が参加して、災害時携帯トイレの使い方を説明しました。

まず、防災上 2 リッターの水を 6 本備蓄した場合の段ボールケースを利用する方法を説明しました。段ボールケースのペットボトルを取出し、携帯トイレ用の蓄便袋を中に入れ、用を足したら凝固剤を入れ使用する。使用後は取出して空気を抜いて口を縛り、行政の指定場所にて処分する。今年の冬には 8 号線が雪のため渋滞



片山理事が災害時に自

▲災害時のトイレについて説明する片山理事

しましたが、そのような時に携帯トイレを持参すれば、心にゆとりが生まれる旨、参加者に説明し、打谷理事が携帯トイレの使用説明書と黒い蓄便袋と凝固剤を 1set ずつ取分けて、いつも携帯できる大きさの袋にして、常に携帯し非常時に使える様に工夫したものを作成し、参加者に配布し好評でした。また

宅が断水、下水が使用禁止となった時に自宅の

トイレを使って用が足せる為ストレスの少ない方法を説明。ポリ袋を 1 枚便器にかけ底の水に触れないようにし、携帯トイレの蓄便袋を便座に被せ用を足した後、凝固剤・消臭剤等を投入、時にはペット用の尿取りシート等を使用し数回使用できる様にする。都度、もしくは 2、3 回使用した後、蓄便袋を便座から回収し空気を抜き縛って廃棄する。等説明させていただきました。またこの日は岡本拓夫顧問が会場にて地震発生時の頭部を守る方法「シェークアウト」等紹介されました。

企業と地域の連携 「企業への防災講習」実施

福井県防災課より、地元地区と災害時応援協定を締結した企業に対し、「企業と地域の連携」について企業に直接赴くか、WEB 上で講習をして欲しいという依頼を受け、8 社に対して当会理事が講習を行いました。

企業の防災担当者や従業員を対象に、福井県が作成した資料をベースにして講習を行うのですが、地域との関り方や環境が違ったり、初めて WEB で講習する場合もあり苦労していました。次年度以降も継続予定なので、会員で分担して講師を努められるように体制を整える必要があります。



▲福井県庁にて WEB で講習を実施する 佐藤理事



▲(株)サンリーブでの様子 二木副理事長

◇ 福井県内の会員数 ◇

(2021 年 4 月末日現在)
福井県防災士会員 224 名
(特別会員等を除く)
日本防災士会員(県内) 103 名
防災士(県内) 3,576 名
防災士(全国) 210,050 名

編集担当 福井県防災士会 広報担当

住所 〒916-8507 福井県鯖江市下司町

福井高専環境都市工学科内

Eメール bousaisi@fukui-nct.ac.jp

Web サイト http://toshichan.be.fukui-nct.ac.jp/bousaisi/